

「自分なりに表現する」「自分なりに受け取る」を探求した授業の一考察 ～授業報告とドキュメンテーション～

森 広樹 遠藤 知里 田村 元延 花岡 清美 木下 藍 加藤明代

はじめに

本報告は、常葉大学短期大学部保育科一年生を対象として開講している保育内容研究Ⅴ（表現A）後期授業において、保育内容の領域「人間関係」の内容である「自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く」の視点をキーワードに、表現から生じる相互作用に焦点を当てた授業の試みについて述べる。また学生が自分なりに表現すること、そして自分なりに他者の表現を受け取ることを楽しむ姿から、様々な表現の気付きの考察を教員が作成したドキュメンテーションを通して振り返る。

1. 「幻燈会」

1.1 他者の表現の世界に浸る



写真 1: 2019年12月3日「幻燈会」にて

保育内容研究Ⅴ（表現）の授業では、前期から後期にかけ、様々な活動を通して学生は自らが表現する、また他者の表現に触れる経験を積み上げている。後期9回目の授業では、秋から冬への移ろいをテーマとした、光と音の世界「幻燈会」を開催した。ここでは真っ暗な教室内で、季節の移ろいを表す映像の投影と、教員による打楽器、弦楽器などを用いた即興演奏が行われている。（写真1）学生には、「幻燈会」のシナリオと、OHPフィルムに印刷された季節の写真を手渡しており、各々のライトで写真を照らし、壁や机に映すことができるようにした。本授業では、日頃より活動の各所で、教員も自ら楽しんで表現する姿勢を大切にしている。そこには、表現することの楽しさ、伝え合うことの喜び、また様々な感性を受け止める柔軟性を共有することで、学生の主体的な表現活動を支えたいという教員のねがいがある。

今回の「幻燈会」は、5分程度の短い時間ではあるが、教員が活動の真ん中に位置し、学生は教員の表現性をみとる存在であった。そもそも「幻燈会」の根源には、生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにし、感動したことを伝えあう楽しさを味わおうとしたり、感じたこと、

考えたことなどを音や動きなどで表現しようとする教員の欲求がある。これらは正に領域「表現」に示された内容そのものである。すなわち、今回の「幻燈会」を保育の現場と照り合わせると、我々教員は自らの「～したい」を表現する子どもであり、学生はそれをみとる保育者のような位置付けであったかのようにも感じられる。

1.2. 授業者の気づき

学生が「幻燈会」を通して具体的にどのような気づきがあったかの真意は残念ながら定かではない。しかし学生の振り返りシートを見ると、多くの学生は教員の表現を見守ることに徹していた様子を読み取れる。普段の授業では、教員は学生が自分の表しに興味を持ち、それをかたちにする過程を丁寧に見ることに重きをおいているが、学生側にも他者の表現を見守る眼差しがあることに改めて気づいた。さらに、振り返りシートの内容を見ていくと、「自然との触れ合い（水、土、風、光）」、「音とリズム」、「リラクゼーション」、「身体表現」など、これまでの授業で培ってきた経験が多くの学生の見守る視点に反映されていたことも確認できた。また授業者としては、学生が他者の表現活動を見守ることはもちろん、興味関心を積極的に抱くことができる授業の構成と環境について改めて考える良いきっかけになったと感じている。

2. 「トコタンランド」

2.1. 「トコタンランド」の概要

第9回目授業「幻燈会」を皮切りに、4コマを通し本授業後期の集大成としてインターアクション（表現の相互作用）をテーマに掲げた「トコタンランド」の実施に向けての準備が始まった。誰かに向けて、あるいは誰かを思って表現すること、また誰かの表現を見守ったり楽しんだりすることから様々な気づきを得ることをゴールに、皆で協力し合って「トコタンランド」を作り上げていった。

1) 自分たちがやってみたい、他者に経験してもらいたい催し物を決める

クラス内でやってみたい、経験してもらいたい催し物ごとにグループに分かれ、ねらい（どんなことが楽しめる催し物か）を決めるなど、学生が企画の立ち上げを実施。クラスごとに開催場所を決定した。

2) 開演スケジュールを決めるにあたって

	前半(13:15~13:40)	中間(13:40~14:05)	後半(14:05~14:30)
1月7日	リラクゼーション 生演奏マジックショー わなげ ディズニーグッツ Disney Sea(合唱) 玉入れ リラクゼーション	フェイスペイント アンサンブルコンサート アクセサリー作り アブズバザール 201クレスト コロコロバイキング 福笑い ボーリング・わなげ	クイズコーナー 的当て・わなげ サイレント鬼ごっこ インスタブース Disney Sea(合唱) うろ覚えお絵かき 集まれ！音楽に合わせて体を動かそう！同上
1月14日	フェイスペイント アンサンブルコンサート サイレント鬼ごっこ インスタブース Disney Sea(合唱) 集まれ！音楽に合わせて体を動かそう！同上	クイズコーナー 的当て・わなげ 生演奏マジックショー わなげ ディズニーグッツ 201クレスト コロコロバイキング 玉入れ リラクゼーション	リラクゼーション 生演奏マジックショー アクセサリー作り アブズバザール Disney Sea(合唱) 福笑い ボーリング・わなげ

今回の「トコタンランド」は2020年1月7日、1月14日の両日で実施した。2週にわたっての開演ということで、それぞれのグループが2回発表できる機会があり、それぞれの活動を振り返り、それを踏まえ再度発表できるような仕組みになっている。また他のグループの発表に出来るだけ多く足を運べるよう、一日を3つのブロックに分けて開催するよう工夫されている。

3) フライヤー作りのねらい

今回は授業4コマ分を使用して各々のグループは開演の準備を行っていたが、作業の過程を通して催し物の内容やかたちに変化していったグループも少なくない。例えば作家や作曲家など、作品作りに向き合う過程の中で新たな方向性が見えてくることや、作品を作り終えてからタイトルを付けることなどは決して珍しくないむしろ物作りの過程ではごくごく自然に起こりえる現象である。ただ複数が関与するグループワークでは、何かしら全体の見通しを持って作業に取り掛かることも必要不可欠である。学生たちが各々のフライヤー作りに励むことは、それぞれの催し物の方向性を再認識し、作業に取り掛かる上で大切な工程であったと感じる。また、開園日には、それぞれのエリア



写真 2: フライヤー作り

の入り口にボードを置き、フライヤーの展示を行なった。開催者、観客含めみなで催し物の特徴やカラーを共有出来たことは、「トコタンランド」を盛り上げる重要な鍵であったかもしれないと感じている。

4) 他者の表現から気づく

インターアクションをテーマに掲げている「トコタンランド」では、他者の表現を自分がどう受け取っているか、そこからどんな気づきがあるかという点に重きを置いている。そこで今回作成した振り返りシートは、各催し物をロケーション別にまとめ、自分が足を運んだ場所順に、体験したことやそこから感じたことなどを記載できるようデザインしている。自分がどのような目線で他者の表現をみとっているか、そんなことに想いを馳せるきっかけになってくれれば嬉しく思う。

5) あげて嬉しい、もらって嬉しい 互いに贈り合うフィードバック

今年度の保育内容研究V(表現A)は、お互いに思ったことや感じたことをメッセージにして贈り合うことを通して振り返りを行なった。大教室の黒板や壁には、21の催し物を表すフライヤーとメッセージボードが設置されており、学生はそれぞれ足を運んだグループのボードに様々な想いを募った。他者の表現を通して体験した嬉しかったこと、楽しかったこと、面白かったこと、驚いたこと、感動したことなど、たくさんの気づきに教室全体が包まれ、また一つ新たな表現の可能性を感じられるような環境であったと考える。そして自分達のグループのメッセージボードに集い、贈られた言葉を観賞し、グループ内でメッセージを山分けすることで、「トコタンランド」全体の最終的な振り返りとした。



写真 3: 2020 年 1 月 15 日「互いに贈り合うフィードバック」

2.2 授業者の気づき

「トコタンランド」の活動全体を通して、改めて感じたことは、学生によって作業のタイムマネジメントが異なるということだ。いち早く活動の趣旨を把握し作業に入る学生もいれば、ある程度時間をかけて状況を把握し、作業に取り掛かる学生もいる。また早い段階で満足する人や、作業を進めるにつれて没頭していく人もいる。筆者は今回の活動を通して、皆が同じイベントに向き合いながら、そこに身を委ね、同じ空間を共有することが大切であると再認識した。一見、作業の手が止まっている、考えることを中断しているかのように見える学生が、周りの人から何かしらの影響を受けている可能性は否定できない。授業者としては、多様な学生の表し方や、活動に対する様々な姿勢を柔軟な視点から考察することで、はじめて授業全体の方向性や流れを見極めていけると感じている。

おわりに

保育内容研究 V（表現 A）後期の授業コーディネートに携わるにあたり、自分なりに表現する、自分なりに他者の表現を受け入れることを授業者自身探求しながら、学生との共有方法を模索していった。「幻燈会」の開催を通して、学生に授業者の表現をみとってもらったことも、その共有方法の一つであったと考えている。異なった想いや、理解、受け取り方に対して教員も学生も柔軟な視点を持つこと、また恐れず想いを分かち合うことのできる環境が整われることで、表現することの素晴らしさにはじめて気づくのではないだろうか。今後も表現し合うことから生じる相互作用が自然なかたちで行われることのできる活動構成を探求し、授業のコーディネートに役立てていきたい。

参考文献

文部科学省（2018）幼稚園教育要領

TOKOTAN LAND (ダンス室エリア)

★フェイスペインティング

「どこ？」出会えたらラッキー！
(私は出会えずじまい。残念！)

★わなげ (&ストラックアウト)

まとキャラの視線がやる気を挑発！
輪の「投げ感覚」が心地よい。

★アンサンブルコンサート

自由だからこそ調和が気持ちいい。
音楽に人が集まり笑顔が生まれる。

★クイズコーナー

正答するとランプが灯る本格派！
回答者も観客もワクワクときどき！

★癒やしの世界へようこそ

ランプの光と木琴の音があたたかい。
コクーン(繭)の中で春を待つ気分。

★インスタフォト

変身する人も見ている人もうっとり。
背景がないから、イメージが広がる。



あたたかなやりとりあふれる くつろぎの空間



楽

1月7日: この空間は、楽の空気感が心地よかった。楽には、「楽器を鳴らして音曲を奏すること(例:音楽)」に加えて、「こころよい」、「身も心も安らかで苦しみがない」、「たのしい」という意味もある。まさに楽があふれた空間だった。

1月14日: 他のクラスの人がたくさん訪れていた。はじめは遠巻きに眺めていた人たちも、だんだんと近づいてきた。前回は自分たちが提供するイベントの切り盛りで時間が過ぎたが、今日はLANDをより深く味わうことができたようだった。

くつろぎとあらし 表現を引き出す「くつろぎの要素」の発見は新鮮!

Tokotan Land (体育館階段側ステージ)

生演奏マジックショー

楽しませたい プレゼントしたい
あなたに捧げるエンターテインメント！

ピアノの生演奏あり
歌あり
笑いあり
手品ありの
マルチエンターテインメント
受け取り方次第で楽しみ方も
変わるって面白い



わなげ

階段の段差がちょうどいい
ターゲットは私たち自身！
やさしいからちよっと動いて
自分から輪に入っちゃろう！



アズース バザール

奥の輪めがけてボール
をコロコロ
ターゲットにボールが
はまったら
ボックスの中のご褒美
を掴み取り！
最初から最後まで
楽しい嬉しいが続く



お気に入りのキャラクター
を見つけたらそれはキミ
のもの！

ただただプレゼントしたい
グッズ屋さん♪

ディズニークッツ



サイレント恵ごっこ

目をつぶってみんなで鬼を捕まえよう！
え？今のだれ？？ アクシデントがクセに
なる。最後まで面白いが一杯！！



アクセサリー作り

作ってよし、作ってあげてよし
お似合いの一品を贈りたい
あなただけのオリジナルアクセサリーを着けて
気分はルンルン♪

TOKOTAN LAND (体育館階段エリア) 企画者と参加者のたぐさんの心や体の動きが見えてきた

玉入れ



うる覚えおえかき



リラクゼーション



ミラーボールでダンス



ボーリング・わなげ



福笑い





動きや気持ちが生み出され..



わくわく

「特技を生かし、みんなが楽しめる振付を考えました。」



イメージをふくらませながら
世界観やストーリーを確立



Class C Presents
“Disney Sea”
“201 クエスト”
“コロコロバイキング”

「どうしたら楽しんでもらえるか、興味を持ってもらえるか、分かりやすい説明の仕方や演出について話し合いを重ね、形にしてきました。」

「計画の段階で歌ったり踊ったりしている姿が想像できたので、(準備の間も)楽しみだった。」

「経験者がリードしてくれたりグループで分かれて練習したりすることで協力が生まれた。」



即興的に創り出す面白さ、
分かち合う楽しい気持ち、
湧き出るイメージとエネルギー、
そんなものがほとばしる
空間でした。